

平成24年度 森プロ事業実績：林建協働プロジェクト

(平成25年3月31日現在)

	H22～23年度		H24年度				5カ年	
	計画	実績	計画	実績	達成率	備考	計画	
集約化(ha)	482	349	0	49			482	
作業道(m)	12,900	12,200	6,640	2,946	44.4%		26,400	
間伐等	面積(ha)	81	63	56	29	51.8%		393
	材積(m3)	1,680	2,178	2,640	1,382	52.3%		16,160
備考			作業道支障木451m3					

H24年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 1,470 円/m3

施業集約化の状況

- ・共有林において森林経営計画作成の同意を取得
- 施業プランの活用状況
  - ・県行造林地及び崇教真光所有林において施業プランに基づき施業を実践
- 施業プランナーの養成状況
  - ・(岐阜県)H24年度施業プランナー育成研修(基礎研修)を2名受講し修了

作業道の状況

- ・林業専用道規格作業道4路線完了。
- ・木材運搬先の県森連飛驒共販所へは集積箇所からの直送としたが、今後販売先の拡大を視野に入れ作業道残土を有効利用して中間土場を整備した。
- ・作業ポイントを各所に設置し、集材及び木材集積に有効利用することとした。
- ・切り盛り施工ができない急傾斜地が多く残土移動に労力を要したが、補助事業の規格等を有効活用し、コスト削減に努めた。
- ・集材を最大限意識した路線計画に努め、緩傾斜の尾根に支線を配するなど、効率的な利用間伐に繋がる路網配置が実現できた。
- ・路盤屋根型構造や側溝と暗渠を組み合わせた排水処理施工を実践した。
- ・洗越工は形状によってトラック走行の妨げになる場合があることから、谷部排水は極力管渠工を実施した。

<施工状況>





